

東京藝術大学基金

活動報告書

2023

# 寄附実績

## ▶東京藝術大学基金へのご寄附

### 2023年度 東京藝術大学基金への寄附総額

皆様の温かいご支援により、2023年度の寄附総額は**171,331,693**円に達しました。

東京藝術大学基金に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様からのご寄附につきましては、運用資産として活用させていただくとともに、寄附目的に沿って教育研究活動への支援等に活用させていただいております。

### 東京藝術大学基金の累計総額は23億円に到達

東京藝術大学基金は、本学の財政基盤を長期的に支え、もって本学における教育研究活動、社会連携活動の充実、ひいては我が国における芸術文化の振興等に資するため、2012年10月に創設しました。

そして、2023年度末現在、その累計総額は**2,315,706,932**円に達しました。

皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

今後とも、東京藝術大学基金の活動への変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 主な活動報告

## ▶国際交流拠点整備事業

### 第2期パブリックアートの設置

2023年11月に竣工した国際交流棟（Hisao & Hiroko TAKI PLAZA）は、留学生と共に学び、共に交流できる国際交流の拠点として整備され、施設各所には「共に藝（う）える」をコンセプトに、留学生（卒業生）の制作した陶板による「留学生交流パブリックアート」、キャンパス内の植物を材料とした和紙や倒木した樹木を活用した「地産地消パブリックアート」、外壁面を様々な作品の実験の場として活用する「変化し続けるパブリックアート」の3つのパブリックアートが設置されています。

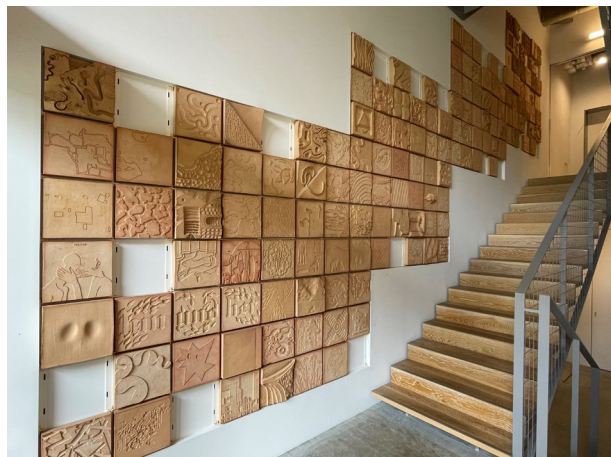
2023年度は上記パブリックアートのうち「留学生交流パブリックアート」の第2期分のデザイン募集・陶版制作・設置を実施したほか、「地産地消パブリックアート」として台風で倒木した樹木を利用し、本学取手校地木材造形工房にて制作した棚を国際交流棟1Fの大学生協へ設置いたしました。

今後は建物外壁面に設置されている「変化し続けるパブリックアート」の更新を中心に、引き続き棟内のパブリックアート整備・管理を実施する予定です。

最後になりますが、本パブリックアートの整備にあたり、滝久雄様・裕子様ご夫妻より深い御理解と多額の御寄附を賜りましたことに対して深く感謝の意を表します。



国際交流棟（Hisao & Hiroko TAKI PLAZA）の外壁面に設置されている「変化し続けるパブリックアート」（2024年9月現在）



1階の階段吹き抜け部壁面に設置されている「留学生交流パブリックアート」2期分



国際交流棟大学生協  
台風で倒木した樹木を利用した制作棚

# 主な活動報告

## ▶宗次徳二奨学基金

### 次世代の音楽界を担う才能を支援

宗次徳二様（カレーハウスCoCo壱番屋の創業者、NPO法人イエロー・エンジェル理事長）からの多大なるご寄附により、『宗次徳二特待奨学生制度』が創設され、音楽学部（器楽科ピアノ専攻、弦楽専攻、管打楽専攻 各1名）・大学院音楽研究科（声楽専攻またはオペラ専攻1名）の入試成績が優秀な学生に奨学金を給付しております。また、特待奨学生には、『宗次徳二海外留学支援奨学金』を給付し、留学や国際コンクールへの参加費用などへの支援を行っています。

さらに、世界的なオーケストラであるベルリン・フィルハーモニーが保有する「カラヤン・アカデミー」へ、特別選抜制度による2年間の若手演奏家派遣事業も実施しており、2022年度合格者1名に対しては、2023年度より派遣を開始しました。この事業についても宗次様からのご支援により実現しております。

### 【2023年度奨学金等給付実績】

- 宗次徳二特待奨学生 14名
  - ピアノ専攻 : 4名 管打楽専攻 : 4名
  - 弦楽専攻 : 4名 声楽専攻 : 2名
- 宗次徳二海外留学支援奨学金 7件
  - ウィーン国立音楽大学への留学、
  - ハエン国際ピアノコンクールへの出場 他
- ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー生への支援 1件

宗次徳二若手演奏家応援シリーズ  
TOKYO GEIDAI × Munksagu Hall  
東京藝術大学 宗次徳二特待奨学生コンサート 2023年度

ハーブ 小口 陽香 3年次在学中  
Haruka Koguchi, Harp  
J.S.バハハットソナタとフーガ ニ短調 BWV565  
G.フォーレ 練習曲

ソプラノ 白川 憂里亜 専攻1年次在学中  
Yuria Shirakawa, Soprano  
R.シューマン 連作歌曲「4年目の花」 Op.23より  
H.ヴォルフ 朝歌/船歌  
R.シュトラウス 歌劇「最後の日」からの3つの曲 Op.10より  
G.プッチーニ 二重管弦楽交響曲「スズカケ」より「我が故郷の人」

ピアノ 西本 裕矢 3年次在学中  
Yuya Nishimoto, Piano  
ショパン バラード 第4番 へ短調 作品52  
スケルツォ 第2番 変ロ短調 作品31

サクソフォン 光井 梨紗 3年次在学中  
Risa Mitsui, Saxophone  
H.トマジ サクソフォン協奏曲

2024年3月23日(土) 14:00開演 13:30開場 | 全自由席  
一般2,000円 学生1,000円 ※ハーフ價の申込はあります。  
※宗次徳二財団より特別協賛をいただいております。

「東京藝術大学宗次徳二特待奨学生コンサート」にて、成果発表を行いました。



スペイン、ハエンにて国際ピアノコンクールに出場

### 【宗次徳二海外留学支援奨学金受給者の声】

初の国際コンクール参加で驚きの連続でしたが、第2位入賞という結果を残せたことはとても光栄でした。振り返ると、第3次予選の後、地元の音楽学校の生徒が50人ほど演奏後に近づいてきて口々に褒めてくれ、サインや写真を求められたことは特に嬉しい思い出です。コンクールを通して現地の聴衆の方々の、音楽への熱心な姿勢がとても印象に残っています。

海外のコンクールに、日本から参加するのは距離、金銭面の両方でハードルが高いですが、宗次様にご支援をいただいているおかげでチャンスが広がったことに、心より感謝しております。

(音楽学部器楽科ピアノ専攻 2年 [留学時])

## ▶SDGs推進基金

### 東京藝術大学 × みずほフィナンシャルグループ 「アートとジェンダー」共同研究プロジェクト

東京藝術大学（以下、「東京藝大」）と株式会社みずほフィナンシャルグループ（以下、「みずほFG」）は、「経済だけでなく、アートで文化や社会・人びとの生活も豊かで彩ある未来」をともに目指して、2023年11月に包括連携協定を締結し、東京藝大とみずほFGとの連携事業として、「アートとジェンダー」をテーマにした様々なプロジェクトを、キュレーション教育研究センターにて展開しています。

2023年度は、①レクチャーシリーズ&リサーチプログラム「アートとジェンダー研究会」、②地域の子どもを対象にしたアートプロジェクト「アートなお祭り」、③シンポジウム&作品・実践発表会「千住 Art Path 2023特別企画《「地域・子ども・アート」をかんがえる1日》」の3つのプロジェクトを実施しました。

「アートとジェンダー」というこれまで学内で取り扱われてこなかったテーマに対して、研究会やアートプロジェクト、シンポジウムという多角的な切り口を通じて、東京藝大の学生や教職員、そしてみずほ社員が共に学び考える場を創出しました。

本プロジェクトでは、引き続き、アートと金融・経済における両者の専門性を活かしつつ、細やかな意思疎通を図りながら、新たな産学連携とアート×ビジネスの取り組みを模索・実践してまいります。

#### 【実施概要】

- ・実施期間：2023年9月～2024年2月
- ・開催場所：東京藝大上野キャンパス、千住キャンパス、足立区内の小学校
- ・参加者数：累計459名



シンポジウムの様子

撮影：富田了平



アートワークショップの様子

撮影：富田了平

クロー・バレ《Xenolith》2023



アートなお祭り

撮影：中川周

# 主な活動報告

## ▶若手芸術家支援基金

### 東京藝大アートフェス 2023

「東京藝大アートフェス2023」は、芸術家の発表の場を提供しアーティスト育成するとともに、A7 (ARTs7)※の各大学と連携し、社会的諸問題、地球規模の問題について共に考えることを目的として、2023年11月29日（水）から2024年5月29日（水）まで、オンラインにて開催しました。

開催期間中、12月13日（水）には「東京藝大アートフェス2023」受賞作品発表オンラインイベントを実施し、東京藝術大学長賞、優秀賞、佳作各賞を発表すると共に、株式会社みずほフィナンシャルグループより米澤武史執行役に出演いただき、みずほ賞の発表を行いました。

「東京藝大アートフェス2023」の開催にあたっては、本基金等による助成により、WEBサイトを構築し、また受賞者全34名には今後の活動支援のために賞金を授与しました。

今後は、より一層のアーティスト育成に繋げるため、各部局やアート・キャリアと連携し、学生及び卒業修了生への積極的な作品募集を行い、引き続き若手芸術家によるアートの力を世界に、そして未来に繋げていきます。

#### ※ A7 (ARTs 7) とは

2023年5月のG7広島サミット2023の開催を機に、東京藝術大学が中心となり「A7」を提唱。国際的な教育フォーマットと研究ネットワークのための協力プラットフォーム“Shared Campus”のフル・パートナー校である世界の7つの芸術大学による共同声明「ARTs が社会的課題に取り組み世界平和への貢献を目指す。」を発表しました。

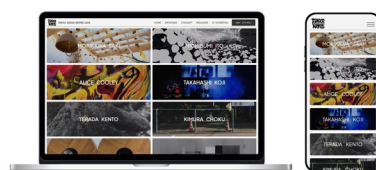
A7のメタバース会場では、A7参加大学から推薦された作品と、東京藝術大学長賞受賞者の作品を展示しています（2024年9月現在）。

#### 【A7 参加大学】

- チューリッヒ芸術大学（チューリッヒ/スイス）
- ロンドン芸術大学（ロンドン/イギリス）
- ラサル芸術大学（シンガポール）
- 香港城市大学 クリエイティブメディア学院（香港/中国）
- 香港浸會大學（香港/中国）
- 國立臺北藝術大學（台北/台湾）
- 東京藝術大学（東京/日本）



東京藝大アートフェスロゴ



「東京藝大アートフェス2023」



「東京藝大アートフェス2023」  
受賞作品発表オンラインイベント

## ▶平成藝術賞（奨学金）

### 次世代の美術界を担う人材への支援

株式会社平成建設様より、継続的なご寄附のお申込をいただき、平成藝術賞が創設されました。次世代の美術界を担う芸術家及び研究者の人材育成を目的として、美術学部において特に優秀な者（当該選考年度の学部卒業見込者のうち卒業制作・論文が特に優秀な者）を各科（日本画、油画、彫刻、工芸、デザイン、建築、先端芸術表現、芸術学）から各1名選考し奨学金を給付させていただきます。

#### 【平成藝術賞受賞者の声】

この度、平成藝術賞という栄誉ある賞を頂けたことは私の4年間を「それでいい。そのまま突き進みなさい。」と先生方や社会から肯定してもらえたようで本当に自信に繋がりました。作品制作時は卒業後の不安やプレッシャーからなかなか制作だけに集中するのが難しい環境ではありましたが、それが「学生最後の作品を作る」つまり卒制を創るということなんだと思います。藝大生に限らず将来が約束されている人なんてこの世にいません。その上手くいか分からない将来への不安をエネルギーに換えて今を精一杯生きるしかないんだと卒業制作を通して学ばせて頂きました。今後も学問分野や言語の壁を超えて様々な人と協働しながらアートの力を社会に発信していきます。  
(美術学部絵画科油画専攻・2023年度卒業)



受賞した作者と作品を展示紹介する「未来の大芸術家たち」展が開催されました。



「未来の大芸術家たち」展の様子

## ▶修学支援事業基金

### 授業料改訂にともなう修学支援奨学金

経済的な理由により授業料の納付が困難な学生を対象とし、授業料改定による差額を修学支援奨学金として補填し、本学への進学及び修学の継続の支援を2020年度より行わせて頂いております。

2023年度は前期・後期要件を満たした延べ2名の学生への給付を行いました。

# 主な活動報告

▶音楽学部・大学院音楽研究科

## 日本アルゼンチン修好125周年記念事業

### 藝大フィルハーモニア管弦楽団2023アルゼンチン コロン劇場公演

本事業は、世界三大劇場の一つと称されるコロン劇場から正式招待を受け、また、日本アルゼンチン修好125周年記念事業として駐アルゼンチン日本国大使からも後押しのお手紙をいただき、実現に至ったものです。同劇場の3000席を超えるチケットは早々に完売、満員の聴衆に迎えられて2023年12月6日（水）現地時間の20時から公演を行いました。公演の様子はライブ配信もされ、世界中へ藝大フィルの音楽が届けられました。

日本のオーケストラがコロン劇場において招待公演するということは、現地の日系人の方々が進移民社会の長い歴史の中で積み重ねてきた様々な想いを背負ったものであり、「文化使節」以上の、日本・アルゼンチンの両国の歴史の新しい1ページを切り開く画期的な事業となりました。終演時には15分以上も鳴り止まぬ拍手、スタンディング・オベーションにコロン劇場広報も、あれほどの盛り上がりはかつてなかったと驚いていたそうです。

最後に今回の公演を実現するにあたり、各方面から大変多くのご寄附とご協力を賜りましたことに対して深く感謝の意を表します。

※コロン劇場のYouTubeチャンネルで本公演のアーカイブ動画をご視聴いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=3pLguq7Kyj4>



終演時の様子



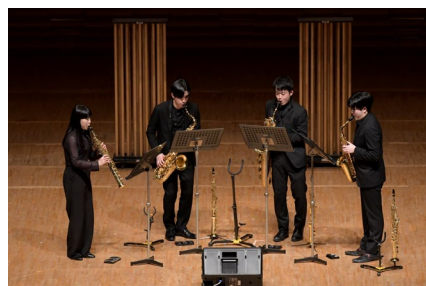
## 青山紫音室内楽学術研究基金

2023年度、室内楽講座コンサート2023春、同秋・同冬、第50回藝大室内楽定期演奏会を実施いたしました。

室内楽講座コンサートは、教員と学生による室内楽共演が一つの目玉となっており、年間1～3回ほど開催されます。演奏家としての実践経験豊かな教員との、密度の高いアンサンブルの機会は、室内楽を専攻する学生の、貴重な研究成果披露の場となっております。

また、2024年2月に行われた第50回藝大室内楽定期演奏会では、オーディションにより選出された十数組のグループが、2日間にわたり奏楽堂で熱演を披露いたしました。

この室内楽学術研究基金は、本学卒業生から室内楽演奏会活動等への助成を目的に創設されたものであり、ご寄附を活用させていただきましたことに心より感謝申し上げます。



「第50回藝大室内楽定期演奏会」の様子

# 財務報告

## ▶2023年度 収支報告

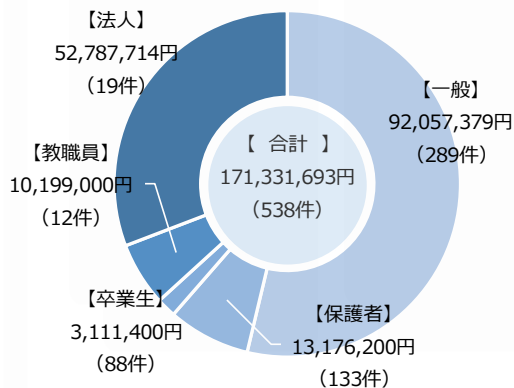
収入の部	非目的指定寄附金（未来寄附金）	62,648,167 円
	目的指定寄附金	108,683,526 円
	その他収入（運用益）	3,073,608 円
収入の部 計		174,405,301 円
支出の部	目的指定活動資金	125,906,234 円
	渉外活動経費	1,606,847 円
支出の部 計		127,513,081 円
差引収支額		46,892,220 円
前期繰越基金残高		654,617,519 円
期末基金残高		701,509,739 円

## ▶東京藝術大学基金期末残高の状況

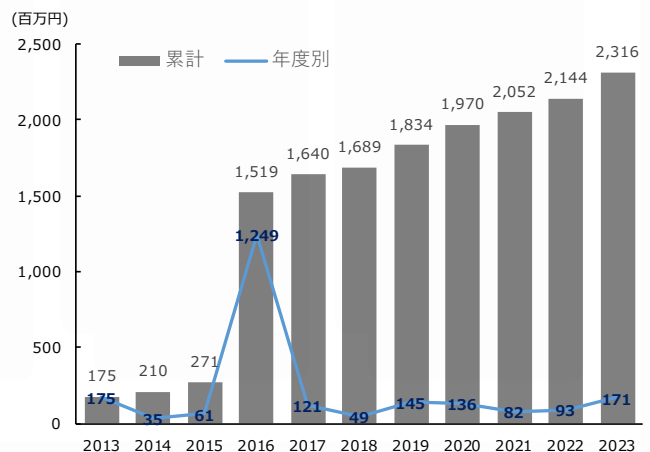
非目的指定寄附金（未来寄附金）	259,682,593 円
目的指定寄附金	384,581,257 円
運用益	57,245,889 円
計	701,509,739 円

## ▶東京藝術大学基金への寄附受入実績

### 2023年度



### 累計総額と年度別総額の推移



## ▶東京藝術大学基金実績報告

### ■2023年度寄附受入

2023年度は総額 **171,331,693** 円のご寄附をいただきました。

非目的指定寄附金	●未来寄附金	293件	62,648,167 円
目的指定寄附金	●宗次徳二海外留学支援奨学基金	1件	31,350,000 円
	●平成藝術賞（奨学金）	1件	2,400,000 円
	●SDGs推進基金	8件	17,128,785 円
	●若手芸術家支援基金	39件	12,115,350 円
	●アートDX基金	4件	12,777 円
	●修学支援事業基金	56件	931,000 円
	●海外派遣奨学金給付制度への支援	2件	7,700 円
	●日比野克彦学長学術研究基金	1件	9,500,000 円
	●澤和樹学術研究基金	1件	190,000 円
	●電気代高騰に対する支援	51件	9,316,045 円
	●施設及びキャンパスの整備充実への支援	2件	34,000 円
	●正門再生プロジェクト	5件	304,285 円
	●施設整備プロジェクト基金	9件	230,180 円
	●美術学部・大学院美術研究科への支援	29件	4,672,895 円
	●音楽学部・大学院音楽研究科への支援	29件	12,198,945 円
	●大学院映像研究科への支援	1件	7,000 円
	●藝心寮に関する支援	2件	6,659,564 円
	●愛住館の展覧会・運営等への支援	1件	285,000 円
●渉外活動への支援	3件	1,340,000 円	
<b>合計</b>		<b>538件</b>	<b>171,331,693 円</b>

### ■2023年度事業支出

2023年度は総額 **127,513,081** 円の事業支出を行いました。

●国際交流拠点整備事業	（パブリックアート設置費 等）	23,789,511 円
●宗次徳二奨学基金	（特待奨学生奨学金、海外留学支援奨学金 等）	19,028,800 円
●SDGs推進基金	（藝大×みずほFGIアートとジェンダー研究会」 等）	10,145,363 円
●若手芸術家支援基金	（東京藝大アートフェス2023 等）	9,939,648 円
●澤和樹学術研究基金	（社会連携センター特別講座「SOU×MODE 奏と装」への助成 等）	5,678,496 円
●平成藝術賞	（平成藝術賞奨学金）	2,400,000 円
●音楽学部・大学院音楽研究科	（藝大フィル アルゼンチン公演、青山紫音室内楽学術研究基金 等）	43,040,660 円
●その他		13,490,603 円
<b>合計</b>		<b>127,513,081 円</b>

# 寄附特典

## ▶ 称号の贈呈

一定額以上のご寄附をいただいた方に、以下の称号を贈呈しております（寄附額はいずれも累計）。

寄附の累計金額	称号の種類
1億円以上	特別栄誉会員
1,000万円以上	栄誉会員
500万円以上	特別貢献会員
100万円以上	貢献会員
30万円以上	賛助会員

## ▶ 銘板の設置

寄附金の累計額が100万円以上になった方のご芳名を銘板に刻銘し、永く顕彰いたします。

（ご承諾いただいた方のみ）

## ▶ 税法上の優遇措置

東京藝術大学へのご寄附には税法上の優遇措置が適用されます。別途お送りする領収書を控除証明書として確定申告に添付し、所轄税務署へご提出ください。

## ▶ 寄附者のご紹介

感謝の気持ちを込めて、ご寄附いただいた方のご芳名を大学広報誌「藝える」でご紹介いたします。

（ご承諾いただいた方のみ）

## ▶ 本学主催イベントへのご招待

大学美術館の展覧会や奏楽堂での演奏会等に賛助会員以上の方を可能な限りご招待いたします。

# ご寄附の方法

## ▶ 書面によるお申し込み

書面によるお申し込みをご希望の方は、東京藝術大学基金事務局（東京藝術大学社会連携課）までご連絡ください。後日、関係書類を郵送いたします。指定の「払込取扱票」又は「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、各金融機関窓口よりお振込みください（「払込取扱票」は寄附申込書を兼ねています）。

【お振り込み先】

### ● 郵便振替

口座記号番号： 00100-7-729410

加入者名： 国立大学法人 東京芸術大学

### ● 銀行振込

三井住友銀行 東京公務部 普通預金 151873

口座名義： 国立大学法人 東京芸術大学 寄付金収納口

みずほ銀行 東京中央支店 普通預金 1891468

口座名義： 国立大学法人 東京芸術大学

## ▶ WEBサイトからのお申込み

東京藝術大学基金WEBサイトから下記の決済方法でお申込みいただけます。

藝大基金

で検索

<https://www.fund.geidai.ac.jp/>

【決済方法】

- クレジットカード決済
- 銀行振込

寄附申込みフォームは  
こちらのQRコードから





## 東京藝術大学基金事務局

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

東京藝術大学 社会連携課内

Tel 050-5525-2400

Fax 03-5685-7761

E-mail [development@ml.geidai.ac.jp](mailto:development@ml.geidai.ac.jp)

Web <https://www.fund.geidai.ac.jp/>